

共生・協働のむらづくり通信

第4号



共生・協働の^{むら}農村づくり運動

～人と自然と地域が支え合う
みんなで創る農村社会～

魅力的で個性あふれる
むらづくりを目指します



鹿児島県農政部農村振興課
鹿児島県共生・協働の^{むら}農村づくり運動推進協議会

平成21年度 共生・協働のむらづくり表彰地区紹介

県では、「共生・協働の^{むら}農村づくり運動」の全県的な取組を推進するため、地域の自主的な話し合いを基本に、実践活動を行っている地区を表彰し、広く県民に紹介しています。



平成21年度は、さつま町永野区と曾於市鶴木地区が受賞しました。

永野(ながの)区むらづくり委員会(さつま町)

永野区は、「町の財政に頼らない自立の地域活動」をモットーに、話し合い活動を盛んに行っています。また、都市農村交流の取組が活発であり、今後も活動が期待される地区です。



永野金山坑道跡

金山跡地や南高梅などの地域資源を活かした手作りのイベントであり、参加者が年々増えています。



さつま特産品直売所

佐渡金山と並ぶ日本二大金山の一つです。史跡等、地域資源の活用を図っています。



ウォーキング大会

地元の農産物や女性グループによる加工品などが並び、多くの買い物客で賑わっています。

水稲の作業受託や遊休農地の解消に貢献しています。

地区外からの活力を取り入れた都市農村交流を行っています。



農事組合法人 永野むらの設立



棚田オーナー制度

鶴木(つるぎ)地区むらづくり委員会(曾於市)

鶴木地区は、地区の課題を住民みんなで話し合い、目標に掲げる「やすらぎの里」づくりに取り組んでいます。住民の強い連帯感や郷土愛が感じられ、今後も発展が期待される地区です。



鶴木維新会



鶴木池

地区の復活に向けて立ち上がったボランティアグループです。



みんなで整備したグラウンド・ゴルフ場

昔の姿を取り戻そうと、住民の手で鶴木池を復活させました。



散策道の整備

地区内の集落道の再生をきっかけに、次の課題に取り組もうという意欲が高まりました。

遊休農地を活用して、地区の活動資金を捻出しています。さつまいもや大根などを生産・販売し、収益を伸ばしています。



自主財源確保のためのさつまいもの収穫

子どもからお年寄りまで一緒に活動できる場所をつくるため、地区外からの協力も得て、整備されました。

これまでの受賞団体 ~むらづくり部門~

年度	受賞地区名	市町村名
平成19年	新城(しんじょう)地区	垂水市
	倉野(くらの)地区	薩摩川内市
	中谷(なかに)地区	曾於市
平成20年	大馬越(おおまごえ)地区	薩摩川内市
	住吉(すみよし)地区	始良市
平成21年	鶴木(つるぎ)地区	曾於市
	永野(ながの)区	さつま町

共生・協働のむらづくり活動情報

～平成22年度 活動紹介～

第9回 高山ふるさと秋祭り(日置市高山地区)^{たかやま} 平成22～23年度 共生・協働のむらづくり支援事業実施地区

11月28日(日),日置市東市来町高山地区において、「高山ふるさと秋祭り」が開催されました。

廃校となった学校跡地を拠点に、マス釣り大会や尾木場の棚田散策、かすら工芸づくり体験など趣向を凝らしたイベントが催され、地区外からも多くの方々を訪れました。また、今年は石釜ピザ販売にも取り組み、すぐに売り切れるなど、大変賑やかな1日となりました。

今後も、地域資源を活用したさまざまな取組が期待されます。



地区女性たちによるステージで踊りの披露

NPOなど地域外活力と協働した地域おこし(南さつま市長谷集落)^{ながたに}



都市住民等との田んぼの草取り作業

南さつま市金峰町長谷集落は、世帯数が16軒程度と過疎・高齢化の進行が著しい集落ですが、NPO法人「プロジェクト南からの潮流」を中心とした地域外活力を導入し、協働による地域おこし活動が行われています。

集落にある棚田や滝、山林など地域資源を活用し、田植えや稲刈り、陶芸体験、そばの種まきなどを通じて、都市部の住民との定期的な交流を図ることにより、元気な集落づくりに取り組んでいます。

池田湖畔の草払いを実施(指宿市池田中浜地区)^{いけだ なかはま}

5月16日(日),池田中浜地区自治公民館連絡協議会は、池田湖畔の草払いを実施しました。これは、池田湖畔約3ヘクタールに雑草が生い茂って、景観に悪影響を及ぼし、観光面から見ても対策を講じなければならないとの思いから始まりました。

当日は、約90名が参加して、草刈り機をフル回転し、およそ1時間半で作業を終えることができました。

県道からは、池田湖がはっきり見えるようになり、参加者は満足感でいっぱいになるとともに、通行者にとっても、良いおもてなしの風景となりました。



会員総出による池田湖畔の草払い作業

ボランティアで「きれいな花を咲かせ隊」(阿久根市脇本地区)

阿久根市脇本地区の「きれいな花を咲かせ隊」は、国道389号(通称:エメラルドライン)の路側帯にある花壇に1年中きれいな花を咲かせる活動を行っています。

6月13日(日)早朝、隊員約100人が参加して、それぞれの花壇にマリーゴールドや葉ケイトウなど6種類50本を植えました。

「きれいな花を咲かせ隊」は、今後も継続して水やり、追肥、草取りなどの管理作業を行うこととしており、通行者の目を楽しませてくれることでしょう。



環境美化と交通安全を願って植え付け作業

リバースクール開講 (薩摩川内市内之尾地区)



大学生による棚田の役割についての講義

8月8日(日)、薩摩川内市内之尾地区において、リバースクールが開講されました。

当日は、内之尾棚田グループを中心に、鹿児島大学農学部ボランティアグループ、鹿児島純心女子大学こども学科、川内川河川事務所、NPO(川内川生きものクラブ、ふるさと創夢課)の協力のもと、集落外から11家族25名の親子が参加しました。

大学生によるクイズ形式での講義や沢下り、集落の方々が準備したそうめん流しやおにぎりをいただくなど交流を楽しみ、最後に、子ども達には修了証書が手渡されました。

また、地域活性化に向けた今後の取組についても話し合いを行いました。

ながみず年の瀬ふれあい特産市(霧島市永水地区) ながみず 平成22~23年度 共生・協働のむらづくり支援事業実施地区

12月29日(水)、霧島市永水地区むらづくり委員会による「ながみず年の瀬ふれあい特産市」が、農産物直売所「ながみず百笑館」において開催されました。

正月用品であるミニ門松やウラジロ、ゆすり葉、松、そば、飾り餅等の販売のほか、午前と午後の2回ずつの餅つき大会を行い、餅や栗ぜんざい、ゆで卵などが振る舞われ、地区内外の約500名の来場者で賑わいました。

永水地区では、他にも様々なイベントを企画し、都市農村交流を図っています。



子どもから大人まで参加した餅つき大会

農産物直売所「^{せんかえん}船花園」オープン(始良市^{ふなつ}船津地区) 平成20~21年度
共生・協働のむらづくり支援事業実施地区



様々なイベントで盛り上がったオープン当日

11月20日(土),始良市船津地区に農産物直売所「船花園(せんかえん)」がオープンしました。

この直売所は,船津及び春花地区の住民で直売所の運営管理組合を組織し,JAあいらの旧支所の建物を借り受け,住民自らが必要な材料やレジ等の中古品を調達するなど,ほぼ手作りで整備されました。

地区内で生産された新鮮な野菜や米,近隣で栽培された花・果物のほか,同組合の加工部が作った惣菜や菓子等が販売されています。

甘しょの収穫祭(志布志市^{おおのぼる}大野原地区) 平成22~23年度
共生・協働のむらづくり支援事業実施地区

11月7日(日),集落の若手を中心に設立された大野原むらづくり委員会が主催して,甘しょの収穫祭が行われました。

大野原地区では,平成18年から毎年,近隣の泰野(たいの)地区の畑地において,協働で甘しょの植え付けを行っています。

当日は,集落の老若男女50名が集まり,70アールの面積を収穫しました。日照不足などの天候不順のため,例年より収穫量は少なかったものの,収穫作業はコミュニティ活動の場として大変盛り上がりました。

得られた収益は,むらづくりの活動資金として活用されています。



住民同士の親睦を深めた収穫作業

第2回 大根やぐらライトアップイベント(錦江町^{やどりほら}宿利原地区)



ライトアップされた大根やぐら

12月17日(金)~18日(土)に,錦江町宿利原地区において,地区公民館主催による「大根やぐらライトアップイベント」が開催されました。

加工用大根の産地である当地区は,大根干し用のやぐらを地域活性化に活かそうとアイデアを出し合い,昨年からはめられたもので,地区の女性部が来場者に無料配付する豚汁を調理し,子ども達がキャンドルアートの準備を手伝うなど,住民手作りのイベントとなっています。

当日は,地区外からも多くの観客が訪れ,大変賑わいました。

ながみね

お楽しみ掘り出し市(屋久島町長峰地区)

9月23日(木),屋久島町長峰地区の生活館広場において,地区むらづくり委員会によるお楽しみ掘り出し市が開かれました。

地元産の無農薬野菜や農産加工品,屋久杉工芸品などが販売され,約800人の買い物客で賑わいました。

また,今年は,開催20周年を記念して,液晶テレビや屋久島~鹿児島間の高速船往復券等が当たる抽選会もあり,大いに盛り上がりました。

この掘り出し市は,長峰神社の例大祭の祝賀行事として始められたものですが,地区内外の交流を図る良い機会となっています。



大盛況の野菜売り場

第8回 かかし祭り(龍郷町秋名・幾里地区)

あき な いくさと

平成21~22年度

共生・協働のむらづくり支援事業実施地区



農道を賑わせる24体のかかし

7月4日(日),龍郷町秋名・幾里地区において,秋幾むらづくり推進委員会と秋幾環境保全会の主催による第8回「かかし祭り」が開催されました。

廃品やリサイクル材などを活用し,口蹄疫の侵入防止やサッカーワールドカップなど,世相を反映したユーモラスなかかしが農道沿いに並びました。

また,同時に開催された「どろんこバレーボール大会」には,14チームが参加して盛り上がりました。

この両行事は,地域活性化と農業の後継者育成を目的に行われていて,水田の利用促進の一助となり,地区の活気を取り戻しつつあります。

トゥループ号120年祭(知名町芦清良地区)

あしきよら

平成22~23年度

共生・協働のむらづくり支援事業実施地区

9月26日(日),知名町芦清良字にあるウジジ浜公園において,地区むらづくり実行委員会の主催で「トゥループ号120年祭」が開催され,集落内外から約100名が参加して盛大に行われました。

このウジジ浜には,1890年9月22日,カナダの帆船「リジー・C・トゥループ号」が沖で難破し,芦清良字民がけが人を手厚く介抱したという歴史があり,10年前に初めてカナダ駐日大使や船長の遺族を招待し,交流が始まりました。

慰霊祭では,知名中学校吹奏楽部の演奏による両国の国歌斉唱や乗組員遺族からのメッセージの朗読などがあり,また,交流会は,芦清良字の子供会や婦人会による演芸披露で盛り上がりました。

時代と国境を越えた交流は,地域に新たな夢や希望をもたらし,今後の活動につながるイベントとなりました。



地元婦人会による琉舞披露

わたしたちと一緒にむらの活性化を目指しませんか？

平成22年5月27日、県内市町村の推進団体やNPO法人等からなる「かごしまグリーン・ツーリズム協議会」が設立されました。

都市農村交流を実施してみたい地域の研修や、県内外へのPR活動等に取り組んでおり、地域資源を活用した都市農村交流を通して、むらの活性化を図っています。

興味がある方は是非お問い合わせください。



久富木地区(さつま町)の 都市農村交流の取組を紹介します

この地区では、地区住民の話し合い活動により都市農村交流活動に取り組んでいます。

平成12年度からの「かけ干し米オーナー制度」を機に、当初の日帰り田植え体験などの交流から、「久富木びんコロ村一宿一飯活動」



による農家での宿泊体験に発展し、受入農家の収入増と地域の活性化につながっています。



【かごしまグリーン・ツーリズム協議会】

〒892-0817

鹿児島市小川町17-11中村ビル202

電話 099-248-8185

FAX 099-248-8186

<http://kagoshima-gt.net/>

むらづくり応援隊をご活用ください！

県では、県内のむらづくり実践集落のリーダーやNPO等、共生・協働の農村づくり運動への積極的な理解と協力の得られる方を「むらづくり応援隊」として登録し、農村集落へ紹介しています。

応援隊自身の経験や知識等に基づくむらづくりのノウハウの提供等により、むらづくりの課題解決や話し合い活動を支援しています。

むらづくりに関する情報提供・相談窓口

県では、農村集落が主体となって取り組む活動等の情報を本誌やホームページ等で紹介しています。あなたの地域のむらづくり活動情報の提供や「むらづくり応援隊」の活用等、共生・協働のむらづくりに関する情報は、最寄りの市町村役場又は各地域振興局・支庁農政普及課へお問い合わせください。

共生・協働のむらづくり通信 第4号 (平成23年3月発行)

編集・発行:鹿児島県農政部農村振興課 〒890-8577 鹿児島県鹿児島市鴨池新町10-1

TEL:099-286-2111(内線3109)

鹿児島県ホームページ(むらづくり,グリーン・ツーリズム)

<http://www.pref.kagoshima.jp/sangyo-rodou/nogyo/noson/mura/index.html>